

礼拝所の手順：付録 F

ロサンゼルス郡公衆衛生局は、礼拝所の安全な再開のために、科学と公衆衛生の専門知識に基づいた段階的アプローチを採用しています。この手順は、従業員、インターン、研修生、ボランティア、学者、およびその他すべてのタイプの勤務者（集合的に「スタッフ」と呼ばれる）、ならびに集会者、参拝者、訪問者など（集合的に「訪問者」または「集会者」と呼ばれる）へ安全で清潔な環境をサポートするために、礼拝の場所、宗教サービスおよび文化的儀式の提供者（まとめて「礼拝の場所」と呼ばれる）にガイダンスを提供します。州の衛生担当官が礼拝所に課した条件に加えて、礼拝所は、この礼拝所に関する手順に定められた条件に準拠する必要があります。

注意：この手順では、礼拝の場で対面活動を再開する義務はありません。さらに、高齢者や併存症のある人々など、COVID-19 に脆弱な人々のために、礼拝の場でリモートサービスやその他の関連活動を引き続き促進することを強くお勧めします。

この手順は、食事の準備とサービス、困っている人への物品の配達、育児とデイケアのサービス、学校と教育の活動、在宅介護、カウンセリング、事務、および礼拝所と組織が提供する可能性のあるその他の活動を対象としたものではありません。

この手順は、追加情報やリソースが利用可能になると随時更新されるため、ロサンゼルス郡ウェブサイト <http://www.ph.lacounty.gov/media/Coronavirus/> を定期的にチェックし、このドキュメントの更新がないかをご確認ください。また、カリフォルニア州公衆衛生局は、州の衛生担当官命令の日付から 21 日後に、州の命令およびこれらの手順の影響を評価するためのレビューを行います。

本チェックリストの内容：

- (1) スタッフの健康を保護するための職場の方針と実践
- (2) 物理的距離を確保するための対策
- (3) 感染防止対策
- (4) スタッフ、訪問者、集会者とのコミュニケーション
- (5) 重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

施設が再開手順に取り組む際、これらの5つの重要点を考慮する必要があります。

本ガイダンスの対象となるすべての法人は、以下に記載されているすべての適用可能な対策を実装し、対策が実施されていない場合は、それが適用されない理由を説明する必要があります。

礼拝所名：

住所：

消防法に基づく最大収容人数：

訪問者および集会者がサービスに
使用する概算総敷地面積：

以下の手順では、「スタッフ」という用語は、従業員、ボランティア、インターン、研修生、学者、および現場で作業を行う他のすべての個人を意味します。「訪問者」という用語は、会衆のメンバー、崇拜者、および訪問者として現場にいる一般のメンバーが含まれます。「サイト」および「礼拝所」という用語は両方とも礼拝が行われる建物と会衆の許可された活動が行われる隣接する建物または施設を指します。

A. 職場における従業員（スタッフ）の健康を保護するための方針と慣行（施設に該当するものをすべて選択）

- 在宅勤務で職務を果たせるスタッフには、在宅勤務が指示されている。
- 脆弱なスタッフ（65歳以上、慢性疾患のある人）には、可能な限り在宅勤務で行うことができる作業が割り当てられている。
- すべてのスタッフに、病気の場合は出勤せず、該当する場合は公衆衛生局のガイダンスに従い自己隔離を行うよう指示する。
- 業務プロセスは可能な限り再構成され、スタッフが自宅で作業する機会を増やしている。
- 一名以上の従業員がCOVID19検査で陽性反応を示した、または一貫する症状を発症している報告を受けた場合、雇用主は直ちに感染者に自宅隔離を促し、その感染者に職場で曝露したすべての従業員に自己検疫を促す計画または手順を準備している。雇用主の計画では、追加のCOVID19管理対策が必要となるような職場での曝露があったかどうかを判断するために、すべての検疫中の従業員に対してCOVID-19検査を実施する、または検査の手配を含む手順を検討する。[職場でのCOVID-19の対応](#)に関する公衆衛生ガイダンスを参照する。
- スタッフが職場に入る前に症状の有無を確認する。症状確認は口頭で、咳、息切れまたは発熱、およびその他の自覚症状に関する報告が含まれる。これらの確認は、従業員の出勤時に直接、又は遠隔操作で行う。可能であれば職場での検温も行う。
- 勤務中に一般市民または他の従業員と接触するすべてのスタッフに、無料で布製のフェイスマスクを提供している。勤務中に他者と接触する、または接触する可能性のあるスタッフは常時フェイスマスクを着用する。
- 礼拝や式典で使用される宗教上の衣服やリネン、座席や床の敷物、その他の布製品を洗浄するスタッフには、必要に応じて眼の保護や手袋などの個人用保護具を提供している。
- スタッフは布製フェイスマスクを毎日洗濯するように指示されている。
- すべての作業エリアは、少なくとも6フィートの距離、またはパーティションで区切られている。
- 公共エリアとトイレの両方を含む共用エリア、およびスタッフが使用するその他のエリアは、次のスケジュールで頻繁に消毒する：

- 玄関口・ロビー _____
- 公共の礼拝エリア _____
- 会議室 _____
- 共有作業エリア _____
- 休憩室 _____
- 階段・階段吹き抜け _____
- エレベーター _____
- トイレ _____
- その他 _____

- スタッフは、マスクが常に正しく着用されるように、指定されたダイニングエリア以外の施設内で飲食を禁止されている。
 - スタッフが利用できる消毒剤および関連用品は以下の場所に常備している。
-
- スタッフが利用できるCOVID-19に対して効果的な手指消毒剤は以下の場所に常備している。
-
- スタッフは手を洗うため、頻繁に休憩をとることが許可されている。
 - スタッフは、COVID-19が陽性であると診断された、またはCOVID-19の症状を示した人が所定の自己隔離期間または自己検疫期間を完了していない限り、その人への家庭訪問またはその他のオフサイト訪問をしないように指示されている。
 - 各スタッフに本手順のコピーを配布している。
 - 各スタッフには、独自のツール、機器、および定義されたワークスペースが割り当てられている。保持されたアイテムの共有は最小限に抑える、または排除する。
 - このチェックリストに記載されている雇用条件に関連するもの以外の方針は、配達スタッフおよび第三者として敷地内にいる可能性のあるその他の会社に適用されている。
 - オプション - その他の対策の説明：

B. 物理的距離を確保するための措置

- 礼拝所での宗教サービスや文化的儀式への参加は、建物の収容人数の最大25%または100人のどちらか低い方に制限されている。この数字には、すべての参加者、司祭者、スタッフ、主催者、および訪問者が含まれる。すべてのサービスとセレモニーに事前登録が提供され、参加者の名前、メール、電話番号が含まれる。
- 礼拝所の占有制限の遵守を保証するための対策（事前登録、入場時の参加者数のカウント）が実装されている。
- 駐車エリアは、集会ポイントを制限し、適切な間隔を確保するように再構成されている（例えば、一つおきのスペースの閉鎖）。
- ドライブインサービスを提供する場合 車は少なくとも6フィート離れて駐車するよう指示されている。
- 許可された宗教的イベントは、物理的距離を許すように計画されている。唯一の例外は、結婚する夫婦と一世帯のメンバーで構成されている2名で、宗教で許可されている場合は、一緒にイベントに参加し、ユニットとして一緒に座ることができる。
- サービスやイベントへの参加を希望しているが、COVID-19にさらされた場合にリスクが高い訪問者に向けてバーチャルでのアクセスが検討されている。
- イベントの出席者が入場前に待機する必要がある場合、またはサイトにいる間、他の時点で待機する必要がある場合は、テープまたはその他のマーキングを使用して6フィートの個人間の距離を示している。
- イベントは可能な範囲屋外で行われ、物理的距離を確保し、空気の流れを確保している。
- サービスとお祝いはサイトで過ごす時間を制限するために短縮されている。
- 会議や会談などのオンサイトイベントは、可能な範囲で制限されている。
- 混雑を最小限に抑え、占有の監視を可能にし、スタッフと訪問者が入るときに症状チェックの余地を残すために、個別の入口と出口が設けられている。

- 布製フェイスカバーを着用しているスタッフ（または複数の入り口がある場合は複数のスタッフ）をフェイスカバーの使用を監視し、占有率を追跡するために、最寄りの入り口または部門のスタッフから少なくとも6フィート離しながらドアの近くに配置している。
- イベントスペースは、物理的距離を保てるように再構成されている。椅子、ベンチ、フロアスペースのいずれを使用する場合でも、配置やマーキングは、個人間、または家族グループ間で6フィートのスペースを保つために使用されている。
- オフィス、公共の座席エリア、およびその他の非生産作業現場エリアは、物理的距離をサポートするように再構成されている。
- 該当する場合、礼拝所の通路は、物理的距離をサポートする一方通行として指定されている。
- 表彰台、プラットフォーム、およびその他の演説者エリアは、演説者または司祭者の間に少なくとも6フィートの距離を保てるように再構成されている。
- スタッフにはサイトのすべての領域で互いに少なくとも6フィートの距離を保つように指示している。
- 該当する場合、乗客間の6フィートの物理的距離を許容しないエレベーターの場合、エレベーターの収容人数は一度に4人以下に制限されている。すべての乗員は布製フェイスカバーを着用する必要がある。エレベーターのサイズ、建物の床数、および従業員と訪問者の一日あたりの数を考慮して、エレベーターの乗員に適した物理的距離のガイドラインを確立する。
- 該当する場合、階段の吹き抜けの清掃を強化して、階段の吹き抜けを「上」または「下」行で開放している。
- オフィスおよびその他のエリアのワークステーションは少なくとも6フィート離し、共通エリアは従業員の集まりを制限するため、少なくとも6フィートの物理的距離を確保するように構成されている。
- スタッフのトイレ、休憩室、その他の共有エリアの占有は物理的距離を確保するために制限している。

C. 感染防止対策

- HVACシステムは正常に機能し、可能な限り最大限に、集会中はドアや窓を開き換気を向上している。
- 汚染のリスクを減らすために、可能な限りハンズフリー機器（トイレを含む）を設置している。
- 訪問者は入口で呼吸器症状と発熱について口頭で検査している。
- 目に見える場所に看板を設置し、2歳未満のお子様やその他の呼吸障害やその他のリスクのある状態の人を除き、礼拝やお祝いの際にフェイスカバーの使用が必要であることを訪問者に再度促している。
- 目に見える場所にある看板により、汚染のリスクをもたらす握手、抱擁、または同様の挨拶を行う訪問者を抑制している。
- 礼拝用の本、絨毯、またはその他直接接触れるものを礼拝や式典で使用する場合は、個人が持参するように指示しているか、使い捨てのものを参加者に提供している。
- マイク、スタンド、譜面台、楽器、その他の説教壇や表彰台のアイテムは使用の合間に消毒している。
- 現場での供物プレートや類似アイテムを人から人へ手渡す行為を中止している。寄付の収集には、デジタルシステムまたはタッチフリーの収集ボックスまたはその他のデバイスを使用している。
- 対面での歌唱は、歌う人がお互いから、および他の参加者から少なくとも6フィートの間隔を保てる場合を除いて、サービスやお祝いから排除している。可能な限り歌を必要とするイベントには屋外スペースを使用している。
- セルフサービスの食べ物や飲み物は提供していない。
- 複数のサービスが毎日行われる場合は使い捨てのシートカバーを提供している。床に座る枕には

- 使い捨てまたは洗えるカバーを用意している。洗えるカバーは、使用するたびに交換している。
- 宗教的な衣服やリネンは、可能な限りの高温設定の水で、各サービスまたはイベントの後に洗浄している。
 - ワークスペースと施設全体は、使用時に少なくとも毎日清掃している。トイレと頻繁に触れるエリア、物はより頻繁に清掃している。
 - 汚染を避けるため、予定されたイベントの合間はサイトを閉鎖している。
 - イベントの合間、または就業日の終わりに清掃を担当するスタッフは、通常業務時間外の労働時間に対しても賃金を支払われている。
 - トイレに看板を設置し、訪問者に20秒間こまめに手を洗うことを再度促している。
 - トイレは使用可能な状態に保ち、追加の石鹸、ペーパータオル、手指消毒剤を備蓄している。
 - トイレは、次のスケジュールでEPA承認の消毒剤を製造元の指示に従って使用して、定期的に消毒している：
-
- 手指消毒剤、ティッシュ、およびゴミ箱は、施設の入口または入口付近で一般向けに設置している。
 - オプション - 感染制御を促進するための他の対策の説明

D. 一般市民とのコミュニケーション対策

- 本手順のコピーを、施設のすべての公共の入り口に掲示している。
- 会衆のオンライン発信（ウェブサイト、ソーシャルメディアなど）は、スケジュール、占有制限、駐車制限、フェイスカバーの必要な使用、およびバーチャルでの参加オプションについての明確な情報を提供している。

E. 重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

- 会衆者にとって重要なサービスを優先している。
- 遠隔で提供できるサービスはオンラインに移行しているで行っている。
- 移動が制限されている、または公共スペースにいることで病気にかかるリスクが高い会衆者のためのサービスおよびお祝いへのアクセスを保証するための対策を講じている。

上記に含まれていない追加の対策について別紙に記載
し、本文書に添付してください。

本手順に関するご質問やご意見は、以下の者までご連絡ください。

施設の連絡先:

電話番号:

最終更新日: